

# 「同窓会・学生団体室」棚品再配置計画(案)

## 1・目的 [「同窓会・学生団体室」棚配置の基本構想]

- (1)〔資産区分の明確化〕 ①大学資産 ②学生(同窓会・協議会・各サークル)別資産を明確に区分する。
- (2)〔収納場所の明確化〕 必要時直ぐ出せるよう「棚表示・識別表示」を行い整頓する。
- (3)〔地震対策〕 ①既存棚(スチール製)は滑りやすい為、滑り防止を施す。基本的に棚上(U=Upper Deck)に物を置かない。  
②木製の棚上は収納場所とする。
- (4)〔有効利用〕 ①不要と思われるものが場所を取っています。不要なものは廃棄し、場所の有効利用を図る。  
②今回各サークルに「ポリ衣装箱」1箱分収納スペースを設ける。「引き出し式」が望ましい

## 2・収納方法

[3種類のラック]

(1)既存スチール製ラック [棚配置A & G] 2カ所  
基本的に「同窓会」専用とします。  
棚は滑りやすいため、「滑り防止」対策を施します。

(2)木製ラック [棚配置B・C・D] 3ヶ所  
①大学資産・協議会・各サークル資産を収納  
②重量物は下段に収納  
例;a 協議会テントポール&テント  
③サイズのその場所しか入れようの無いもの⇒その場所に収納。  
例;a 椅子キャリアー b扇風機 c塵取(大学資産新品)  
④「各サークル」常時使用品⇒頻繁に出し入れし易い場所とします。**[踏み台の要らない棚C-2&D-2のみ]**  
⑤木製棚は、Upper Deck も使用します。

(3)縦型ラック [棚配置E&F]  
①E⇒ 協議会「掲示ボード=ベニヤ板」 [大学資産の「椅子キャリアー」を借用し、その上に収納]  
②F⇒ 大学資産「掃除用具」スコップ・箒・など。  
Fの手前「空き場所」に重量物収納  
例;a やきそば用ブロック&ガス台 b スピーカー c タイルシール材

## 3・利用基準

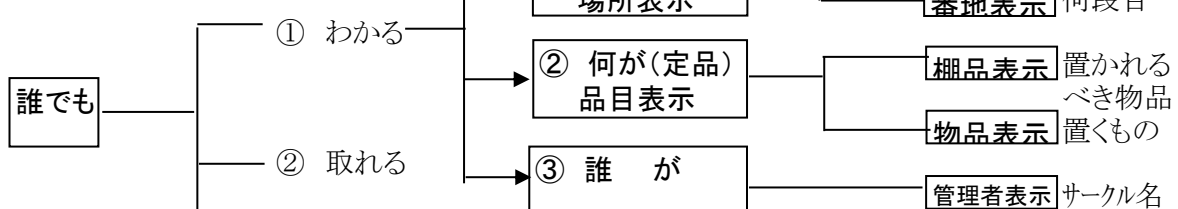
「見える化」および「管理責任者」を明確にします。

**「蔵置品」の中で所有者が不明な場合、一旦「サークル協議会」資産とし、必要時貸与します。**

(1) 整理 整理とは「要るもの」と「要らないもの」を明確にすることです。 **【関係者＝定期的点検】**  
①不要品・死蔵品→廃棄処分 **【捨てる基準を明確に】**  
②滞留品・端材 →要・不要を判断し「不要」が処分対象

(2) 整頓 整頓とは「ものの置き方の標準化」をいいます。 **【看板作戦＝目で見える整頓】**

- ①床への「直置き」をしない。
- ②床は線引きで区分
- ③棚(ラック)は看板表示



例	
所・番地	C-11
棚品表示	テント支柱
サークル名	サークル協議会

以上